

第9課 霊の結ぶ実は柔和

安息日午後

Q. ガイド 60 頁には柔和は何であると書かれていますか？

A. 神に対する謙遜な態度、人に対する優しい態度、物事が思い通りに行かないときにも、神の導きを認め、神に信頼すること。

Q. ガイド 60 頁によれば、柔和であるためには、何が必要で、柔和は何から生まれますか？

A. 神に対する信仰が必要で、自分のやり方に固執する代わりに、神に信頼し、神に頼るところから来ます。柔和は弱さからではなく、強さから生まれます。

日曜日 柔和と謙遜

Q. ガイド 61 頁によれば、柔和と謙遜をもって安らぎを得るためにはどうしたらよいですか？

A. 自分の計画のために格闘することをやめ、神が代わってご自分の計画のために闘ってくださることを信じることです。

Q. ローマ 12:3 によれば、柔和であるためには、どんなことが必要ですか？

A. 恵みによって生かされること。資格があるからではなく、資格が無いにもかかわらず賜物が与えられています。ただで受けたのだから、ただで与える喜び、お蔭様に生かされることです。

月曜日 柔和の模範

Q. アブラハムとロト(創 13:8、9)、ヨセフと兄弟(創 45 章)、ダビデとサウル(サム上 24 章 26 章)、モーセ(出 32:19、20)、イエス様(ヨハ 18:21~23)、これらの柔和の模範に共通するものは何ですか？

A. **アブラハム**:主が、「この地を与える」といわれた土地を選びました。**ヨセフ**:神の主権を認め、万事を益と変えてくださる神の愛への信頼が兄弟を赦す心を造りました。**ダビデ**:心を神の御言葉に開き、その主権を受け入れました。**モーセ**:神の憐れみは、懲らしめや訓練の中にも現われます。主の親心をモーセは忠実に果たしました。**イエス様**:「イエスは報復的な激しいことばを出されなかった。その冷静な答は、挑発されることのない潔白で忍耐強くやさしい心から出たのであった(『各時代の希望』下 194)。**共通点**:主の御心を果たす。主のご品性を表す。

火曜日 柔和の重要性

Q. 何故柔和が必要ですか？

A. ① 神の御言葉を受けるため。② あかしを効果的にするため。③ 神の栄光を現すため。

Q. 柔和を難しくしている問題は何ですか？

A. ねたみ、利己心、自慢から出たもの、それは下からの知恵、世の知恵、サタンの知恵です。上から出た知恵は、純真で、温和で、優しく、従順なものです。憐れみと良い実に満ちています。偏見はなく、偽善的でもありません。義の実は平和のうちに蒔かれるのです(ヤコブ3:14~18参照)。

水曜日 柔和の実を实践する

Q. 柔和の実を实践するためにはどうしたらよいですか？

A. 日毎に神様から聖霊の賜物(永遠の命)を受けて、日毎に御言葉を実行させていただくこと。ある方が常々言っていました。「愛を込めてやる、愛を込めて言う、優しさを込めて言う。それができないのなら、口に出すな」と。なるほど・・・難しいと思いますが、実践したいものです。

木曜日 柔和の報酬

Q. 柔和の報酬をどのように理解しますか？

A. 「毎日の生活にその聖なる原則を実践しなければこうむる大いなる損失を、どうしたらすべての人に理解させることができるだろうか。キリストの柔和と謙遜はクリスチャンの力である」(『健康に関する勧告』403)。